

〔教科別分科会〕

外国語教育	国語教育
<p>【討議の柱】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① なぜ、何のために外国語を教え、学ぶのか。 ② 学習指導要領や教科書の検討とよい教材とは何かについて。 ③ 外国語教育の現状とあり方について。 ④ 小学校「外国語」「外国語活動」をどう考え実践していくのか。 ⑤ 児童・生徒の意欲を引き出す授業づくりと協同学習。 ⑥ 映画や音声・ICTなどを活用した授業づくりと自己表現活動で楽しい授業をどうつくるのか。 <p>※授業で使ったプリントやテストなどを持ちより、気楽に交流しましょう。</p> <p>午前</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 探究・プロジェクト型の協同的な高校英語授業 大阪教育大附高天王寺 大西 里奈 ② 楽しくて学びのある授業をめざして 大阪市・大正中央中 仲宗根悠介 <p>午後</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 一年目、何を思い、何をしたら 府立福泉高 奥田 慎悟 ④ 小学校外国語活動のこれから 守口市立さつき学園 高瀬 翔太 <p>〔特別講座〕 トレーラーでオーセンティックなリスニング 大阪商業大学 吉浦 潤次</p>	<p>【討議の柱】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 文学を文学として読むことの意義をふまえ、教材分析のあり方、多様な指導を交流し、学習を深める。 ② 説明文教材で、どのような力を身に付けるか、またそのための授業づくりを交流し、学習を深める。 ③ 書くことの意味、読みあうことの意味をおさえ、子ども一人ひとりの課題や思いをどう受け止め、どのように書く力をのばしていくか、交流し、学習を深める。 ④ 国語科の本質に根ざし、かつ子どもの実態に基づいた授業づくりにより、子どもたちの基礎・基本の学力を育てる国語科教育のとりくみを交流する。 <p>午前</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「スイミー」の学習を通して 大阪市立平野南小 坂本 朋子 ② 国語科授業づくり教材研究を楽しみながら 高槻市立北日吉台小 安田 悠希 <p>午後</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ コロナ禍の国語で大切にしてきたこと 枚方市立船橋小 松山 幸路 ④ 書写通信と子どもたち 大阪市立豊里小 前田 睦男
<p>レポート発表時間30分（討議含まず）</p> <p>世話人 長谷川和久（元吹田・中学校） 鎌田 栄一（府高・藤井寺高） 推進委員 大西 里奈（大阪教育大附高天王寺） 高瀬 翔太（守口・さつき学園） 共同研究者 小部 修（関西外国語大学）</p> <p>※レポート40部持参</p>	<p>レポート発表時間60分（討議含む）</p> <p>世話人 前田 夏美（東大阪・楠根東小） 西川由里子（高槻・真上小） 山口 文年（高槻・安岡寺小） 共同研究者 土佐いく子（和歌山大学）</p> <p>※レポート30部持参</p>

社 会 科 教 育

【討議の柱】

科学と事実に基づき、地域の主人公としての子どもを育てる社会科教育をすすめます。社会科の学力とは何かをあきらかにし、地域の実態と子どもの発達段階をふまえた実践を研究・討議します。子どもたちの主権者意識をどう育てるかという問題を交流します。

- ① 学習指導要領の問題点を明らかにし、科学的な認識を育てる社会科授業について交流します。
- ② 平和と民主主義、人権を基調にした憲法学習のあり方を探ります。
- ③ 子どもが暮らす地域の様子・歴史の掘り起こしをもとにした実践を研究します。
- ④ わかる授業や教材のあり方を交流します。
- ⑤ 若い先生方に、明日からの授業づくりの参考になるような実践の交流・教材の交流を行います。
- ⑥ 小学校・中学校・高校で使われている教科書の検討を行います。
- ⑦ 歴史の歪曲の動きに対して批判と検討をすすめます。
- ⑧ 現代の課題をどのように実践するかを交流します。

午前

- ① 泉北・大阪における中学校教科書採択の取り組み 泉北教職員組合専門委員 岡沢 文彦
- ② 北海道の子どもと繋いだ食料生産の学習とオンライン学習の試み 大阪歴史協小学校部会 梶野 るい
- ③ 6年生と絵図を読み解く 大阪市立榎並小 岡崎謙太郎
- ④ 日本軍「慰安婦」問題をどう教えたか 吹田市立南千里中 平井美津子

午後

- ⑤ ワタから日本史が見える 大阪府立東百舌鳥高 浅井 義弘
- ⑥ 中世から近世へー蓋妨狼藉をキーワードにー 私立大阪暁光高 和井田祐司
- ⑦ 地理学習の目的は平和認識 私立金蘭会中・高 松尾 良作

【討議の柱】

- ① すべての子どもに学ばせたい算数・数学教育の目標と学習内容を明らかにし、本当の学力を育むための実践を研究、討議する。
- ② 算数・数学科「新学習指導要領」の問題点を明らかにする。
- ③ 「学び」と「教え」のかかわりを明らかにし、競争主義による学力テストに振りまわされることなく子どもたちがたのしく生き生きと主体的に活躍できる授業づくりについて交流する。
- ④ 「わかる」をどのように「できる」につなげるのか。理解と習熟のあり方を考える。
- ⑤ 「コロナ禍」における教育課程編成を考える。

午前

- ① 今、算数・数学の授業はどうなっているのか？（交流） 教研推進委員会
- ② コロナ禍での教育課程編成実施 大阪市立南市岡小 中林真理子
- ③ 三年生の分数 大阪市立南市岡小 金本 玲奈

午後

- ④ 関数の導入と実践と考察 元柏原市立中 熊崎 聡
- ⑤ たし算・ひき算・かけ算のひっ算の補助数字を考える 岸和田市立春木小 何森 真人
- ⑥ 今年度末と来年度はじめの算数・数学授業はどうあるべきか？ 教研推進委員会

レポート発表時間35分

（発表25分・討議10分）

世 話 人

浅井 義弘（府高・東百舌鳥高）
平井美津子（吹田・南千里中）
推 進 委 員

長尾啓三郎（東大阪・日新高定）
共同研究者

井ノ口貴史（京都橘大学）
川本 治雄（和歌山大学名誉教授）

レポート発表時間60分（討議含む）

世 話 人

何森 真人（岸和田・春木小）
共同研究者
大崎 明宏（大阪数学教育協議会）

美術教育	理科教育
<p style="text-align: center;">【討議の柱】</p> <p>今年度コロナ禍での図工美術教育の実践は今まで通り出来ているでしょうか。出来ていないこと、どんな配慮をして実践しているか等、子どもたちと学び、表現する機会をつくっていくには何を大切にすればいいのか等、参加者の意見交流を通し、ともに考えていければと思います。</p> <p>① 子どもの実態や発達段階をとらえ、子どもの生活実態に根ざした表現を通して豊かな感性を育む授業のありかた。</p> <p>② 手仕事の役割を発達保障の観点から見つめ直す。</p> <p>③ 美術作品との対話、鑑賞のあり方を工夫し考える。</p> <p>④ 自分の内面との対話を通して楽しみながらも、深く自分の内心を表現できる美術教育をつくるにはどうすればいいか考える。</p> <p>*参加者の方も作品を持ち寄って下さい。作品を通して語り合しましょう。</p> <p>午前</p> <p>① 木材ブロックで作る「動きのある美しい立体構成」・子どもの権利条約を学んで表現する「人権啓発ポスター」</p> <p style="text-align: right;">守口市立樟風中 國枝 渉</p>	<p style="text-align: center;">【討議の柱】</p> <p>① 自然のしくみと自然科学の基本的な概念を明らかにする。そのための教材、実験、授業プランを検討する。</p> <p>② 自然にかかわる子どもへの認識と発達のみちすじを明らかにする。</p> <p>③ 自然を豊かにとらえるとともに、科学が人間の生活、文化、歴史のなかで果たした役割や課題を明らかにする。</p> <p>④ 学習指導要領や教科書の問題点を明らかにする。</p> <p>⑤ 教科指導をゆがめる点数至上主義や「道徳」のおしつけを批判的に考える。</p> <p>午前</p> <p>① 天気とその変化（5年）〜雪の結晶 東大阪市立若江小 金田 祐佳</p> <p>② 透明半球を安くできないか 東大阪市立中 今井 政廣</p> <p>③ 太陽系の天体 大阪市立汎愛高 辻本 正純</p> <p>④ 恒常性〜肝臓〜 大阪市立汎愛高 松本 大空</p> <p>午後</p> <p>⑤ 高校化学基礎で目指したい物質概念の学習 大阪府立東淀川高 澤田 史郎</p> <p>⑥ コロナ禍の中の小学校（3年）音の学習 元近畿大 玉井 裕和</p> <p>⑦ 回路と電池や電流と 元大阪府立勝山高 永井 茂治</p>
<p>レポート発表時間50分（討議含む）</p> <p>世話人 國枝 渉（守口・樟風中） 浅野 雄大（大障・茨木支援） 共同研究者 服部 宏（元「美術教育」分科会世話人）</p>	<p>レポート発表時間40分（討議含む）</p> <p>世話人 澤田 史郎（府高・東淀川高） 推進委員 金田 祐佳（東大阪・若江小） 辻本 正純（市高・汎愛高） 芝田 隼人（府高・福井高） 共同研究者 青山 政利（元近畿大学） 玉井 裕和（元近畿大学）</p>

技術・職業教育	音楽教育
<p style="text-align: center;">【討議の柱】</p> <p>① 生物育成を楽しいものにする ② 技術教育の実習ルール ものづくりと職業教育 ・技術の歴史について学ぶ ・技術・技能の獲得をめざすとりくみ ・課題研究のとりくみ</p> <p>午前（家庭科と合同）</p> <p>① パイナップルの植木鉢栽培 元大東市立中 赤木 俊雄 ② 性的同意を知り、人との関わり方を考える授業 私立英真学園高 辻 聖佳 ③ 持続可能な社会SDGsを考える授業とは？ 私立英真学園高 新谷仁奈子</p> <p>午後</p> <p>④ 職業高校の現状と課題 ⑤ SNSを利用した授業の情報交換</p>	<p style="text-align: center;">【討議の柱】</p> <p>① 子どもたちが明るく生き生きと音楽活動に取り組めるような授業の組み立てをどう考えるか。 ② 音楽を通して子どもたちに豊かな心と表現力を育てる教材選択とは。 ③ 子どもを取り巻く文化的状況が与える影響について。 ④ 「君が代」について、正しく歴史を学習し音楽教育の立場からどのようにとらえたらよいのか考えたい。</p> <p>午前</p> <p>① 身体で感じる音楽 大阪府立東住吉支援 小島 良平 ② 市教研音楽部 これからのみなさんに伝えたいこと 松原市立三宅小 池田ひろみ</p> <p>午後</p> <p>③ コロナ禍でも楽しく音楽の授業を 大阪市立千本小 覚道 康代</p>
<p style="text-align: center;">レポート発表時間30分（討議含まず）</p> <p style="text-align: center;">世 話 人</p> <p>赤木 俊雄（元大東・中学校） 谷口 行弘（府高・布施工科高） 共同研究者 阿部英之助（大東文化大学）</p>	<p style="text-align: center;">レポート発表時間75分（討議含む）</p> <p style="text-align: center;">世 話 人</p> <p>覚道 康代（大阪市・千本小） 小島 良平（大障・東住吉支援） 共同研究者 山本 真弓（畿央大学）</p>

<p>体育・健康・食教育</p>	<p>家庭科教育</p>
<p>【討議の柱】</p> <p>① 教育の条理にもとづく教育をすすめ、「新学習指導要領」の問題点を明らかにする。</p> <p>② 子どものリアルな実態によりそった教育実践、教育条件整備について考える。</p> <p>③ 学ぶよろこびを大切にしている健康教育について。</p> <p>午前</p> <p>① リレーチームで走る意味 東大阪市若江小 志形美実子</p> <p>② コロナ禍での対話による花笠音頭『学習』 柏原市堅下小 日名 大悟</p> <p>③ ポッチャの授業 東大阪市立枚岡東小 窪田 浩尚</p> <p>午後</p> <p>④ コロナ禍での給食 大阪府立茨木支援 豊田 正子</p> <p>⑤ 食習慣アンケート 大阪府立東淀川支援 久保 美陽</p>	<p>【討議の柱】</p> <p>① 地域・家庭との連携を深めながら、科学的認識や基本的技能を育てる教育内容を考え合ひましょう。</p> <p>② 主体的な学びへとつながる教材の研究を深めるために、自由に日頃の実践を持ち寄り、交流しましょう。</p> <p>午前のみの開催（技術・職業教育と合同）</p> <p>① パイナップルの植木鉢栽培 元大東市立中 赤木 俊雄</p> <p>② 性的同意を知り、人との関わり方を考える授業 私立英真学園高 辻 聖佳</p> <p>③ 持続可能な社会SDGsを考える授業とは？ 私立英真学園高 新谷仁奈子</p>
<p>レポート発表時間30分（討議含まず）</p> <p>世話人 遠藤 裕子（吹田・山田第二小） 大西 恭子（大障・東淀川支援） 推進委員 日名 大悟（柏原・堅下小） 共同研究者 前田 雅章（相愛大学） 竹内 進（大阪成蹊短期大学）</p>	<p>レポート発表時間30分（討議含まず）</p> <p>世話人 白石なぎさ（堺・南八下中） 新谷仁奈子（私学・英真学園高） 共同研究者 朴木佳緒留（神戸大学名誉教授）</p> <p>※レポート20部持参</p>

生活指導・自主的活動

【討議の柱】

- ① 学級・学年・学校の集団づくりをどうとり組むか。
- ② 子どもたちの心をどう理解し、どう信頼関係を築いていくか。
- ③ 子どもの「荒れ」「いじめ」「学級崩壊」などをどうとらえ、どうとり組むか。
- ④ 「スタンダード」にとらわれない、子どもから出発した集団づくりをどうとり組むか。

午前

- ① 本物と出会わせてあげたい 富田林市立喜志小 岸上 三重
- ② 高学年らしくってなんだろう 寝屋川市立北小 奥谷 朱里

午後

- ③ 子どもたちが安心して学べる、あたたかい学級をめざして 寝屋川市立木屋小 竹元 智香
- ④ いつでも、どんな時でも大切にしたいこと 32人での学級集団づくり 高槻市立南大冠小 大瀬良 篤

レポート発表時間60分(討議含む)

世話人

岸上 三重(南河内・喜志小)
森 香苗(南河内・南花台中)
推進委員

竹元 智香(寝屋川・木屋小)
共同研究者

金子 光夫(堺教文センター)

レポート部数30部

1月24日(日)午後のみの開催

ジェンダー平等の教育

【討議の柱】

- ① 子どもたちや父母の要求をもとに、進路、労働、家庭、性に関する課題を出しあい、ジェンダー平等をめざす実践を交流する。
- ② 憲法と子どもの権利条約をいかしたジェンダー平等教育の教育課程を研究する。
- ③ 性教育やジェンダー問題への攻撃の実態を明らかにし、はね返す取り組みを広める。

午後

- ① 性の学習を通じて高校生の自立へ 私立英真学園高 山田 真理
- ② さよならスカート 権利意識を考える 私立英真学園高 辻 聖佳

レポート発表時間40分(討議含まず)

世話人

辻 聖佳(私学・英真学園高)
共同研究者
朴木佳緒留(神戸大学名誉教授)

〔問題別分科会〕

発達・評価、学力の問題

【討議の柱】

- ① 学力テストや習熟度別授業などによる競争と切り捨ての教育の問題点を明らかにする。
- ② 子どもたちの学力実態を明らかにし、課題のある子どもたちを含む子どもたちの学力を高める具体的な実践を交流する。
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」、道徳・外国語の教科化の問題点を明らかにする。
- ④ 「観点別絶対評価」「評価基準」の交流をし、問題点を明らかにする。

午前

- ① 子どもたちが学習のつまずきを乗り越えるために 大阪市立喜連東小 図書 啓展
- ② サンサン輝く3年生へノートで作る対話の3ステップ 大阪市立中川小 谷口美和子

午後

- ③ 子どもを励ます評価とは？通知表の統一をめぐる 泉大津市立戎小 根無 信行

【討議の柱】

これまで「権利としての障害児教育」の確立に向けて運動を進めてきたことに確信を持ち、子どもたちや父母の願いを大切にしたい、全ての障害児や援助を求めている子どもたちの発達を保障する実践や運動について語り合いたい。また、通常の学校での通常学級の教育条件や高等教育での課題等、真のインクルーシブ教育や合理的配慮のあり方についても論議しましょう。

障害児教育

第1分散会

午前

- ① 院内学級における教科指導を通した子どもとのかかわり 大阪府立堺支援大手前分校 奥 正行
- ② やる気と自己肯定感を育てるー通級指導教室の実践No.10ー 寝屋川市立南小 三宮 将男

午後

- ③ 本当は友達と遊びたい 富田林市立貴志小 岸上 三重

レポート発表時間60分(討議含む)

世話人

金井 敬之(元泉大津・旭小)

川岸 雅詩(元大阪市・加美南部小)

推進委員

図書 啓展(大阪市・喜連東小)

根無 信行(泉大津・戎小)

共同研究者

深澤 英雄(和歌山大学)

レポート発表時間30分(討論含まず)

世話人

山林 哲(市教・すみれ小)

岩下 由佳(寝屋川・堀溝小)

推進委員

久保 由佳(吹田・高野台小)

共同研究者

小畑 耕作(大和大学)

幼保小接続期の教育	障害児教育	
<p>【討議の柱】</p> <p>① 子どもの家庭や地域でのくらし、保育所・幼稚園・学校での実態や支援を要する子どもたちの実態を出しあい、子どもをとりまく問題を明らかにします。</p> <p>② 「子ども・子育て支援新制度」の実情など出しあい交流するなかで問題点を明らかにしていきましょう。</p> <p>③ 小学校の基礎学力問題、保育所・幼稚園の統廃合・民営化・預かり保育・延長保育などの問題点を話しあい、父母・地域の人々と手を結び改善するための方向を見出していきましょう。</p> <p>④ 保育所・幼稚園・子ども園・小学校の接続問題について学びあい、実践的課題を出しながら豊かな連携のあり方をさぐります。</p> <p>午後のみ開催</p> <p>認定こども園の現状 泉佐野市立のぞみこども園 渡辺 基子</p>	<p>第3分散会</p> <p>午前</p> <p>① 子どもの思いに応える分教室（院内学級）を目指して〜市大病院分教室の取り組みから〜 大阪府立刀根山支援 橋岡 正樹 大阪府立光陽支援 佐藤 薫</p> <p>② AくんとBくんから学んだこと 堺市立上神谷支援 三木 雄喜</p> <p>午後</p> <p>③ 知的障害支援学校の実践と子どもたちの姿（仮） 大阪府立支援学校教員</p>	<p>第2分散会</p> <p>午前</p> <p>① たんぼぼ学級を安心してできる居場所に そして、茨木市立太田小 杉野 達也</p> <p>② つながりあって育ちあう 寝屋川市立宇谷小 永田 都</p> <p>午後</p> <p>③ 私の障害理解教育 泉大津市立条南小 高橋 翔吾</p>
<p>レポート発表時間40分（討議含まず）</p> <p>世話人 河本 優子（大阪市・住吉幼） 共同研究者 杉山 隆一（大阪保育研究所）</p>	<p>レポート発表時間30分（討論含まず）</p> <p>世話人 西面 友史（大障・守口支援） 前田 綾（大障・生野聴覚支援） 共同研究者 井関 美季（元府立支援学校教員）</p>	<p>レポート発表時間30分（討論含まず）</p> <p>世話人 高橋 翔吾（泉大津・条南小） 推進委員 唐岩 慶（岸和田・修齊小） 鹿野 恭子（泉北・加茂小） 共同研究者 宮本 郷子（龍谷大学）</p>

人権と教育

思春期・青年期の進路と教育

【討議の柱】

思春期・青年期の生徒・青年たちのリアルな姿を交流しながら、その成長と発達を支えとりくみを出しあい、深めましょう。

- ① 生徒・青年のいまの姿や社会へ働きかけ、自らの人生をきりひらくために懸命に生きる姿を交流しましょう。
- ② 中・高生の卒業後の進路の保障に向けたとりくみについて、その現状と課題を交流しましょう。
- ③ 政府・文科省、大阪府や教育委員会がすすめる「教育改革」が及ぼす影響を明らかにしましょう。
- ④ 憲法と教育の条理にもとづく教育と教育制度のあり方、学校づくりの道すじを明らかにしましょう。

午前のみの開催

- ① 生きていく力をみんなで 私立秋桜高 清水沙弥子
- ② 高校で教えてほしかった 教職をめざす大学生の声 大阪府立春日丘高・定時制 小西 順治

【討議の柱】

- ① 児童・生徒に確かな学力と生きる希望を育む正しい人権認識を育てる教育の中身を明らかにしましょう。
- ② 学校に子どもの権利条約を生かし、基本的人権を守り、育てる運動・実践の内容を検討しましょう。

午前

- ① 学校くみんなが明日も行きたいと思える学校がいいな 私立秋桜高 浦田 直樹・小山 民
- ② 今、水俣病から学ぶ！基本的人権に視点をあててー5年生の環境の授業 豊中市立高川小 三輪 浩一

レポート発表時間45分(討議含まず)

世話人

中川 勉(市高・咲くやこの花高)

共同研究者

林 萬太郎(大阪大学)

レポート発表時間50分(討議含む)

世話人

岡村 聡(大障・八尾支援)

三輪 浩一(豊中・高川小)

共同研究者

丹羽 徹(龍谷大学)

平和と国際連帯の教育

【討議の柱】

- ① 核兵器禁止条約発効の意義を子どもたちと学び、考えます。
- ② 戦争体験者からの「聞き取り」、地域にある戦争を伝えるものから学ぶ大切さを交流します。
- ③ 被害・加害・反戦抵抗などの側面から過去の戦争を学習します。
- ④ 原発事故・再稼働、米軍基地、憲法、平和と安全の課題を読み解きます。
- ⑤ 東北アジアの平和や国際連帯へのまなざしを育てます。

午前

- ① 改憲と平和主義 私立金蘭会中・高 松尾 良作
- ② 休校中も「自分自身の世界を読み取る」中学生 大阪市立本庄中 宮城 登

【討議の柱】

- ① コロナ禍の中で、子どもを主人公にした教育・学校づくりをどうすすめるか。
- ② 父母・教職員が協力共同して、安心して楽しく学べる学校をどうつくるか。
- ③ 行政の教育介入に対して、現場でどうたたかおうか。
- ④ 自主的・民主的な教育課程をどうつくりあげるか。
- ⑤ 民主的な教職員集団づくりをどうすすめるか。

午前

- ① 「問題提起」今こそ、「参加と協同の学校づくり」をすすめよう

～そもそも参加と共同の学校づくりとは？～ 世話人

- ② コロナ禍でも大事にしたい行事 摂津市立中 山地 麻衣
- ③ みんなで学校づくり(仮) 私立秋桜高 中西 緑・寿山 雅美
- ④ 特別活動から学校づくりを模索する ～民主的な集団づくりの視点から～ 高槻市立南大冠小 大瀬良 篤
- 午後
- ⑤ パワハラには全教やで～闘う職場を支える組合の役割 池田教職員組合 美濃辺あけみ
- ⑥ 実習教員部の取り組み 大教組実習教員部 弓岡 優子

レポート発表時間50分

(発表30分・討議20分)

世話人

宮城 登(大阪市・本庄中)

共同研究者

原 幸夫(大阪経済法科大学)

レポート発表時間60分(討議含む)

世話人

美濃辺あけみ(池田・秦野小)

杉本 琢也(大障・平野支援)

大瀬良 篤(高槻・南大冠小)

共同研究者

山口 妙子(大阪教育大学)

教育行財政の民主化と教育条件確立の運動

父母・地域・住民の共同

【討議の柱】

- ① 子ども・生徒・保護者の願いを率直に出し合いましょ。
- ② 「こんな学校を、こんな教育を望みます」の声を出し合い、どうつくっていくのかを話し合いましょ。
- ③ 「いのち・くらし・教育を守る」運動をどうつくっていくのか交流し話し合いましょ。

午前

- ① 楽しみを見つけて！ 市民 北島やすの
- ② 市民がうごいた岸和田市幼保再編 岸和田市立大宮小 藤田 信恵
- ③ 八尾市議会での少人数学級請願採択のとりくみについて(仮) 市民 飯田 謙二

【討議の柱】

- ① 自治体予算の現状を正しく分析し、教育予算充実のための要求運動をどのように組織するのか。
- ② 「教育は無償の原則」をもとに、国民と子どもの願いに応える教育条件整備に教職員組合としてどのようにとりくむのか。
- ③ 貧困と格差の拡大がすすむ中で、学校教育白書をつくり教育要求実現のための運動をどのように展開するのか。
- ④ 教職員の勤務・生活の実態を明らかにし、その改善にむけ学校安全衛生体制の確立をどうすすめるか。また、「権利憲章」、「子どもの権利条約」と結合したとりくみをどうすすめるのか。
- ⑤ 自治体リストラ等の動きの中で、学校給食の民営化や民間委託への動きが強められようとする今日、従来の自校方式を継続し、さらに安全で、おいしい学校給食を実現する運動をどのようにすすめるのか。
- ⑥ 東日本大震災以降、南海トラフ等の巨大地震の脅威が日増しに高まるなか日常の「安心・安全・快適」な教育条件整備を一層進めていくことが「いざ、災害」の際、防災への備えになるなどの視点でいかにすすめるか。
- ⑦ 現大阪市政(市政改革プラン)、府教委「大阪の教育力向上プラン」によって、子どもたちの教育条件を悪化させている状況を明確にするとともに、長期に続く不況下のもとで、子どもたちの就学(修学)保障をすすめる運動をどのように展開するのか。
- ⑧ 学校情報の公開と共有をいかにすすめるか、父母・地域の要求と結びついた教育条件整備の運動をどう確立していくのか。
- ⑨ 大阪ですすめられている「小中一貫」教育の実態を明らかにしつつ、それに対するとりくみ、運動の到達を明らかにする。

午後のみの開催

- ① 学校図書館司書の制度化を展望しつつ、労働条件の改善を目指したとりくみ 市高教 河内 正
- ② コロナ対応を教育予算から考える 大教組事務職員部 原田 尚紀

レポート発表時間40分(討議含む)

世話人

富宅奈津子(柏原・国分小)
前田 光男(府高30人学級をすすめる会)
共同研究者
馬場野成和(八尾の教育を考える
市民会議共同代表)

レポート発表時間60分(討議含む)

世話人

本釜 博志(市高・OBF高)
推進委員
山田 一博(寝屋川・一中)
共同研究者
久保富三夫(和歌山大学名誉教授)

文化環境・創造と教育

環境・公害問題と教育

【討議の柱】

- ① 東日本大震災、福島原発事故をふまえて、原子力利用・廃棄物処理などの実態を明らかにし、環境教育実践を考える。
- ② 物質・エネルギー循環と地球環境問題について考え、持続可能な社会（サステイナブルソサエティ）への論議を深める。
- ③ ダイオキシンやアスベストなどの汚染状況、ごみ処理問題について知り、教育実践や住民運動の中でのとりくみを話し合う。
- ④ 学習指導要領と「環境教育」とのかかわりを考え、児童・生徒の環境・公害問題に対する認識や関心を高める授業実践について考える。
- ⑤ 関西空港・高速道路・ダム建設等の大規模開発の実態を明らかにし、干潟・渚・里山・河川などの保全について考える。

午前

- ① 大深度地下工事の地表への影響は？ 元大阪府立勝山高 永井 茂治
- ② 食とエネルギーの地域循環 NPO法人いけだエコスタッフ 佐々木康之

午後

- ③ 小中学校へのおおぞら財団出前授業の報告
大気汚染公害患者のお話と空気測定の実践 おおぞら財団 栗本 知子
- ④ 有機化合物と環境問題 大阪府立東淀川高 澤田 史郎
- ⑤ ミニ講演会 共同研究者 青山 政利

【討議の柱】

- ① 子どもたちの生活と文化の現状とかがわって、今、私たちのとりくみのあり方を明確にしよう。
- ② 教職員の文化的力量を高める努力の中で、現在の文化状況や子どもの文化創造のあり方を明確にしよう。
- ③ 地域での文化活動を父母・地域の人たちと力をあわせ、育て、発展させよう。
- ④ 学校・学級で文化活動にとりくみ、仲間づくり、創造の力を育てよう。
- ⑤ 学校・地域における読書教育・図書館教育活動のあり方を考えよう。

午前

- ① 読み聞かせ活動を中心にした学級づくり 大阪市立南市岡小 中林真理子
- ② 生徒ととりくむ図書づくり2（仮） 私立英真学園高 小林 千弘

レポート発表時間60分（討議含む）

世話人

- 高橋 慶二（元交野・群津小）
- 鈴木喜代治（元堺・日置荘中）
- 共同研究者
青山 政利（元近畿大学）

レポート発表時間40分（討議含まず）

世話人

- 室山 恭子（大阪府立大学）
- 共同研究者
学術情報センター図書館司書
友田章二郎（大阪子どもを守る会）

生活科・総合学習	教育課程・教科書問題
<p>【討議の柱】</p> <p>① 子どもと学校の実態を語り合おう。</p> <p>② 「生活科・総合学習」の課題を明らかにしよう。</p> <p>③ 私たちの目指す「生活科・総合学習」について検討しよう。</p> <p>午前</p> <p>① コロナ禍の子どもたちと学校―参加者による交流―</p> <p>笑顔いっぱい「ぼく、わたしのものがたり」 能勢町立能勢小 志村 誠</p> <p>午後</p> <p>③ 「おもちゃ作り」「ものづくり」で、何を大切に、どのように取り組むか</p> <p>―みんなが楽しく、かしこくなるには― 元東大阪市立退職教員 小林 桂子</p> <p>④ 次世代に伝えたい地域の戦争の跡 元柏原市立退職教員 向井夫佐代</p> <p>⑤ しあわせ 羽曳野市立恵我之荘小 西尾佳奈子</p>	<p>【討議の柱】</p> <p>① コロナ禍による学校再開後、子どもとどのように関わり実践してきたか、学年末に向かって実践をどう構築するかを学級・学年のとりくみ、教科の実践、行事や特活のとりくみを通して、議論していきましょう。</p> <p>② コロナ禍での学習指導要領（小中高）や教科書の問題点（採択と教科書の内容）も考えましょう。</p> <p>午前</p> <p>① 泉北・大阪における中学校教科書採択のとりくみ 泉北教組・専門委員 岡澤 文彦</p> <p>② 変えられた 道徳教科書 元大東市立中 赤木 俊雄</p> <p>③ 教科書も使った道徳の授業 大阪教育大附池田中 山本 修平</p> <p>午後</p> <p>【課題提起】</p> <p>子どもの成長をほぐむ学校づくりを「教文センター」「提言」に込めた思いを 共同研究者 山口 隆</p> <p>④ コロナ禍での運動会作り 枚方市立小倉小 菅 耕史、兼信 勇太</p> <p>⑤ コロナ禍だからこそ、教育課程を自分の手に 堺市立福泉小 峠 綾香</p> <p>総括討論 課題提起とレポート報告を受けた討論</p>
<p>レポート発表時間50分（討議含む）</p> <p>世話人 西尾佳奈子（南河内・恵我之荘小） 小林 桂子（元東大阪・退職教員） 向井夫佐代（元柏原・退職教員） 共同研究者 八木 英二（滋賀県立大学名誉教授）</p>	<p>レポート発表時間40分（討議含む）</p> <p>世話人 熊崎 聡（大阪教文センター） 山本 修平（大阪教育大附池田中） 共同研究者 山口 隆（大阪教文センター） 今滝 憲雄（大阪千代田短期大学）</p>

登校拒否・不登校・高校中退の克服

【討議の柱】

- ① 登校拒否・不登校の子どもの悩み・苦しみをどう受け止め、どう寄り添い、その成長をどう支援していくのかについて。
- ② 登校拒否・不登校の子どもが、困難を乗り越え、自立していく道すじについて。
- ③ 国は、登校拒否・不登校対策として「学習ログ」による「個別最適化」「場所を問わない学び」の導入をはかるうとしており、登校拒否・不登校についての国や自治体の制度・施策にどのような対応が必要かについて。
- ④ 登校拒否・不登校の主因である「極度に競争的な」学校を、教職員・保護者・地域・専門機関の協同により、子どもたちを主人公とした学校にどう変えていくかについて。

午前

- ① 私たちにできること 東大阪市立楠根東小 前田 夏美

午後

- ② 私と不登校の葛藤 登校拒否を克服する会 清水 和子
- ③ ほこり、ママライン 市民 北島やすの

レポート発表時間50分（討議含む）

世話人

松尾 裕子（NPO法人教育相談おおさか）

古庄 健（登校拒否を克服する会）

共同研究者

山岡 雅博（立命館大学）

※レポート40部持参。